

Eb-P002

会場 : Lounge

時間 : 6月25日 17:30-19:00

## SuperDARN HF Radar で観測される Subauroral 領域 F 層 Irregularity 発生頻度空間分布解析

### Spatial Distribution of Irregularity Occurrence Rate in the Subauroral F Region as Observed by the SuperDARN Radars

# 細川 敬祐[1], 行松 彰[2], 家森 俊彦[3], 佐藤 夏雄[4], SuperDARN Group PIs R.A.Greenwald

# Keisuke Hosokawa[1], Akira Sessai Yukimatu[2], Toshihiko Iyemori[3], Natsuo Sato[4], SuperDARN Group PIs R.A. Greenwald

[1] 京都大・理・地球物理, [2] 極地研超高層, [3] 京大・理・地磁気, [4] 極地研

[1] Dept. of Geophysics, Kyoto Univ., [2] UAP, NIPR, [3] WDC-C2 for Geomag., Kyoto Univ., [4] NIPR

<http://www-step.kugi.kyoto-u.ac.jp/~hosokawa>

SuperDARN で観測されるプラズマイレギュラリティの発生頻度がどの程度日照に依存しているかを統計に解析した。その結果、夕方側の日照日陰境界線付近(地理緯度 55 度から 65 度)においてプラズマイレギュラリティの出現頻度が局所的に増大する領域が認められた。それに対して、朝側の日照日陰境界線付近は、特に高い出現頻度は得られなかった。また、この領域は地磁気的な座標系で見た場合、プラズマ密度が周囲に比べて減少している領域 (mid-latitude trough) に対応していることも判明した。